

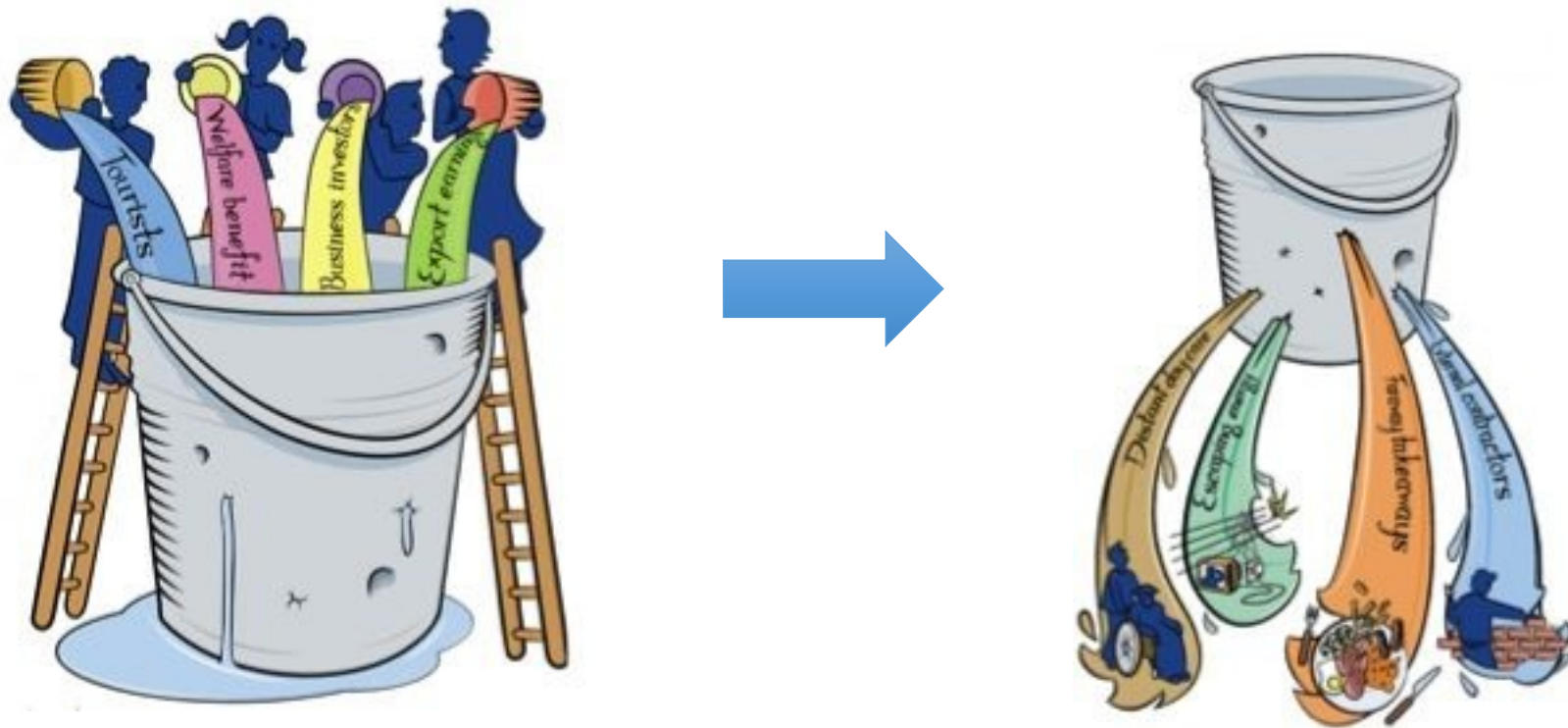
地域経済をみる視点 -地域内乗数効果-

2015. 2. 9

明石修

漏れバケツ理論

- 地域にお金が入ってきてても、すぐに地域外に出ていけば地域は豊かにならない

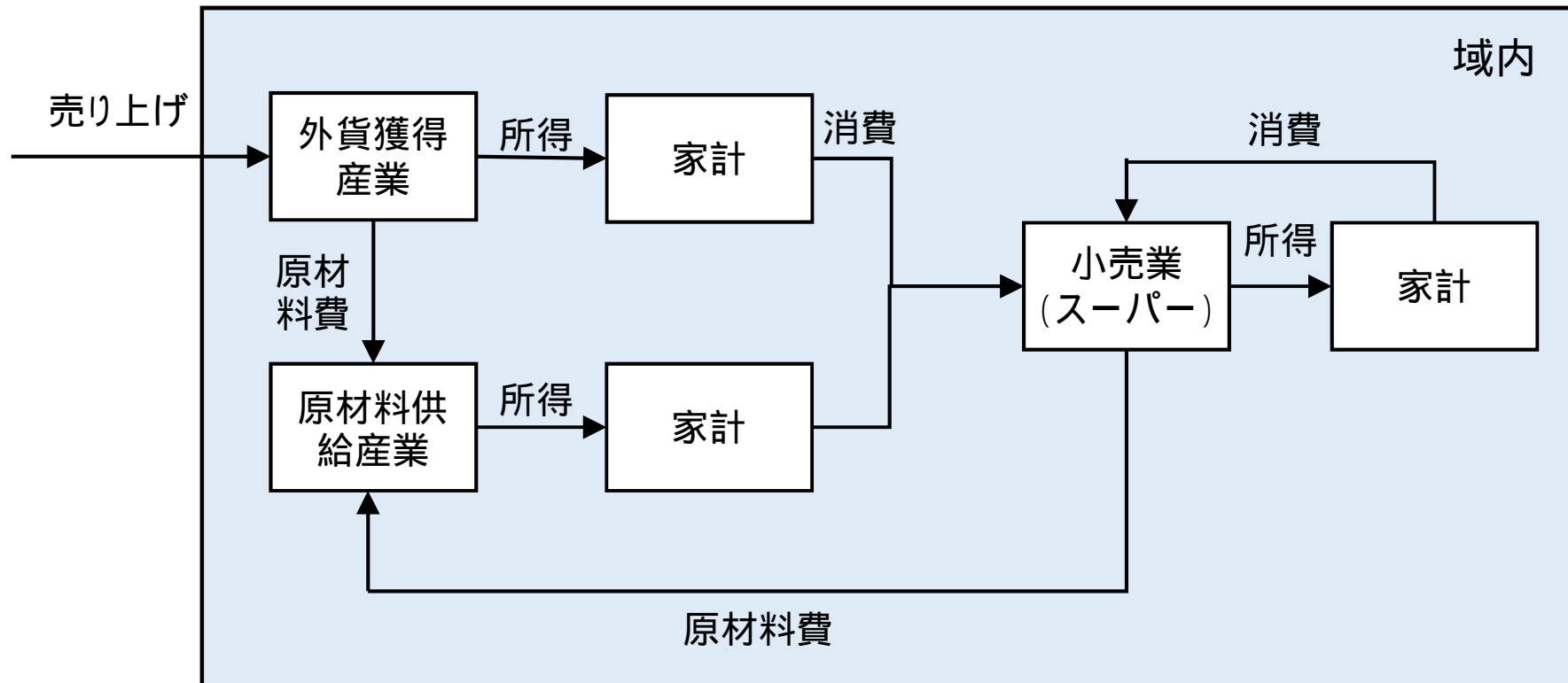


地域の経済活動の例

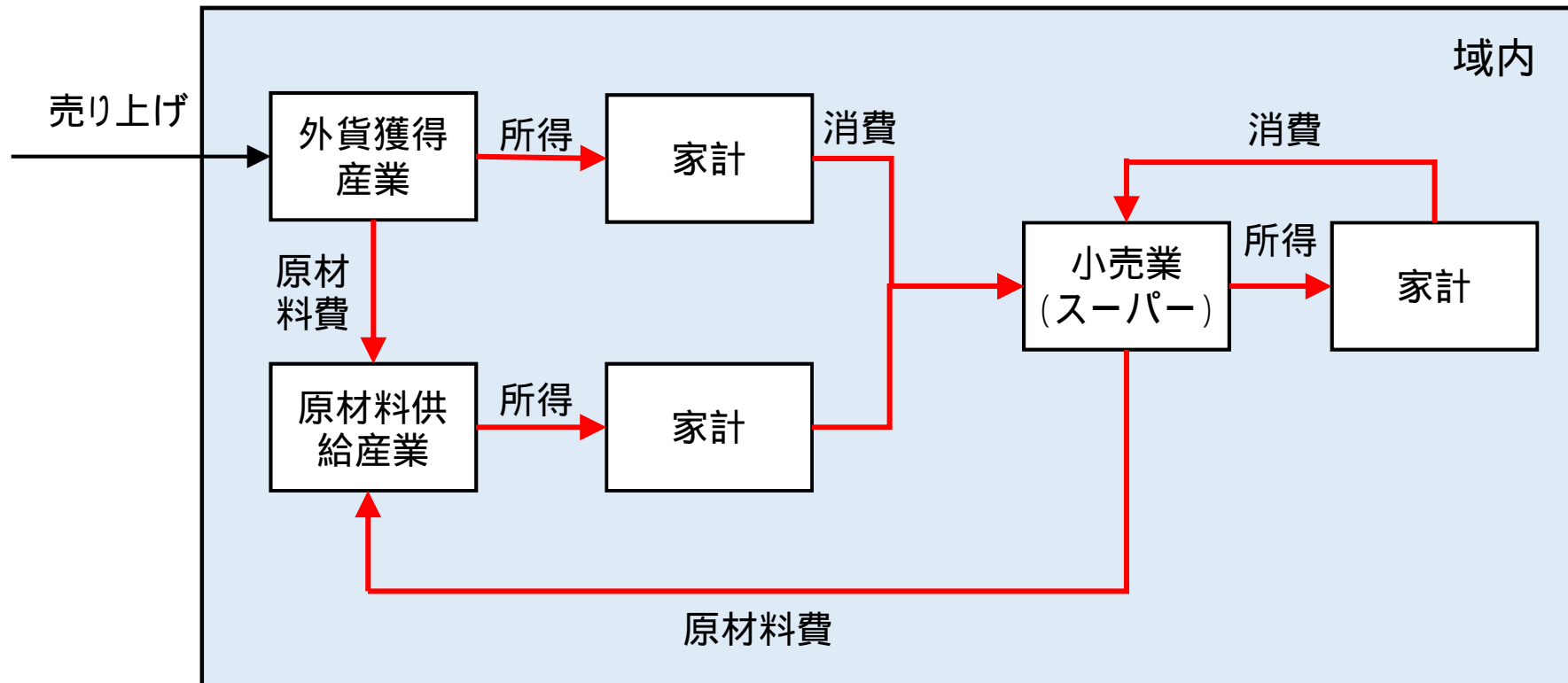
- 3つの産業
 - 外貨獲得産業
 - 原材料供給産業
 - 小売業

- 家計

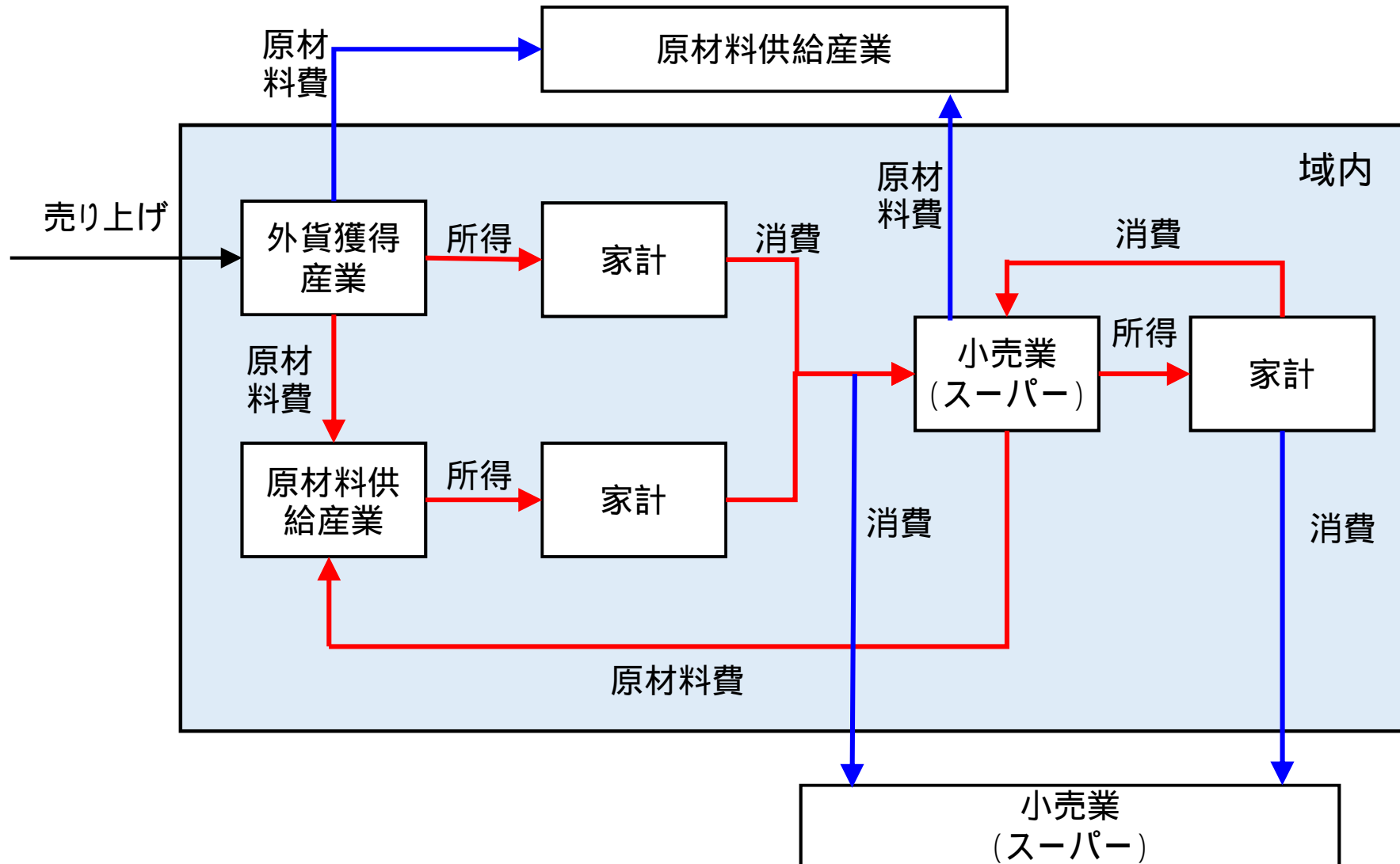
地域内経済循環



地域内経済循環



地域内経済循環



地域内乗数効果

- 地域に入った資金が、地域から出ていく前に、何回地域内で回るか
- 売り上げ→所得→消費 (= 売り上げ) →所得…………
- それぞれの段階で地域外に漏れていく
- 地域に入った資金が、地域から出ていく前に、地域の所得をどの程度作り出すか

経済循環シミュレーションゲーム

- ゲームの内容
 - 地域の経済活動をシミュレーション
 - 「獲得した外貨によって地域の所得はどの程度増えるか？」
- 2人ペアで1つの産業(企業と従業員)を担当

外貨の獲得によって、 地域の所得はどの程度増加するか？

	獲得外貨	地域内率 (原材料、 家計消費)	所得	地域内 乗数効果
ケース1	100万円	50%	120万円	1.2
ケース2	200万円	50%	240万円	1.2
ケース3	100万円	80%	320万円	3.2

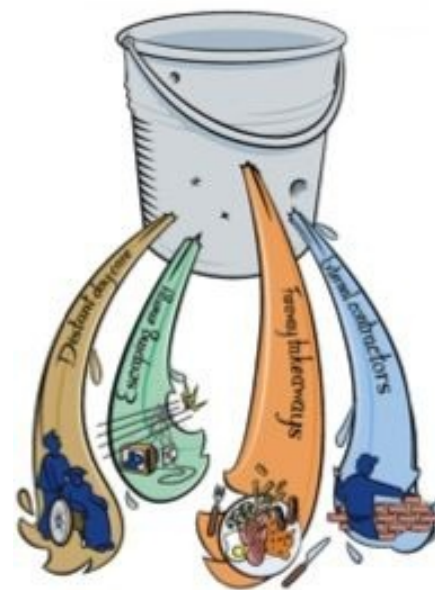
その他の想定

すべてのケースで商品の原価率は50%。資本減耗はない。所得は100%消費に回る

地域経済活性化のためには

外貨獲得

地域内経済循環の強化 → 地域内乗数効果の向上



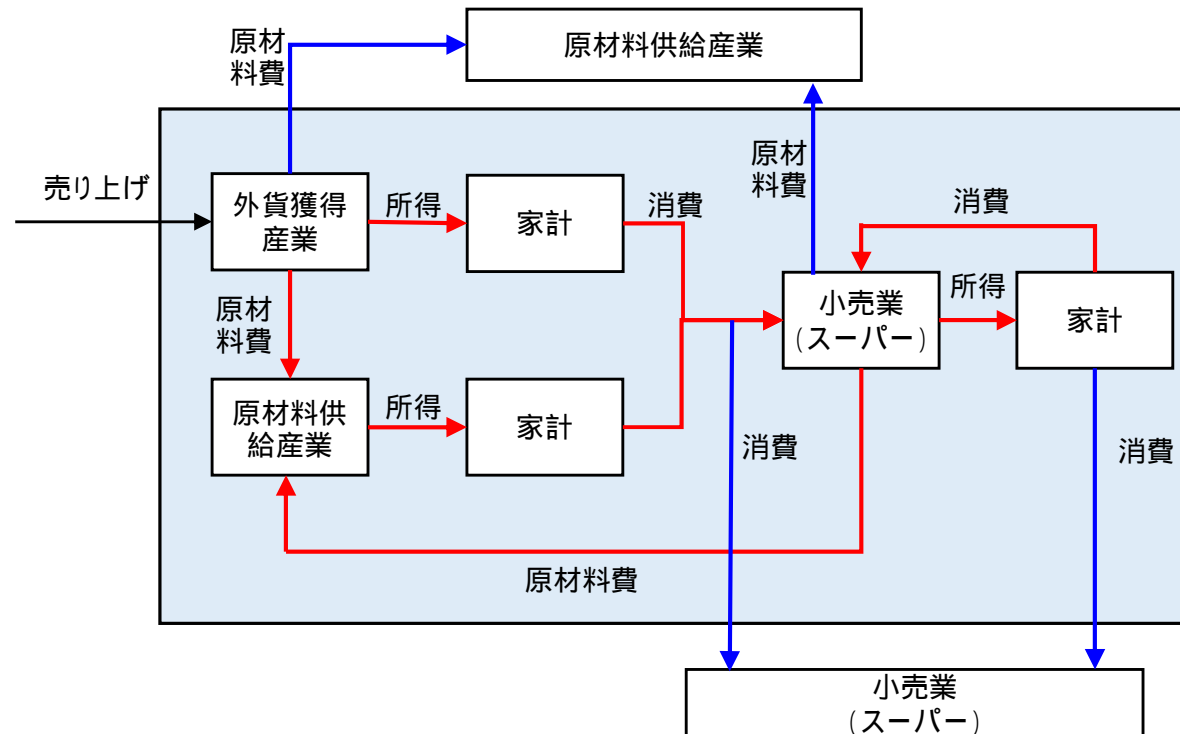
地域内経済循環の強化するためには

- 最終消費財の域内率向上
 - 地産地消、地消地産
- 中間投入(原材料)域内率を向上
 - 域内産業連関の強化
- 所得の漏れを防ぐ
 - 地元企業、地域人材の活用
- 地域内再投資
 - 地域の貯蓄を地域内へ投資

ただし、すべて自給しようとするのではなく、地域の強みや、すでにあるもの・ポテンシャルがあるものを有効に活用

地域内乗数効果を計測に必要な情報

- 売り上げ
- 原価率、付加価値率(所得率)
- 原材料の取引先(地域内・地域外)
- 消費の購入先(地域内・地域外)
- 消費転換率など



2つの手法

- ボトムアップ的
 - 対象とする製品に関するお金の流れをアンケート等により追跡
 - 特定の製品や企業活動の地域内乗数効果を詳細に分析可能
 - 地域経済全体の評価は困難
 - 例: NEFのLM3
- トップダウン的
 - 地域のマクロ統計(産業連関表など)を利用
 - 地域経済全体の評価が可能
 - 特定の商品や企業活動の分析のためには詳細な情報が必要
 - 例: 産業連関分析

産業連関表とは

- 対象地域において、1年間に行われた財・サービスの産業間取引を一つの表にまとめたもの。金額表示。
- 国は5年おきに作成。最新は2005年。最近、2011年版(速報)発表
- 各県や、多くの政令指定市は全国表をダウンスケールし作成

		各産業部門 (買い手)				
各産業部門 (売り手)	中間投入	最終需要 (民間・政府・移輸出など)	移輸入	生産額		
	付加価値 (雇用者所得、営業余剰など)					
	生産額					